

郡山支部

＜同窓吾峰会ホームページ支部だより資料＞ 令和6年7月作成

支部長 大堀満広(昭和46年3月卒業)
事務局 郡山市立守山小学校(郡山市田村町守山字三ノ丸1)
会員数 952名(現職会員461名、方部会員491名)
年会費 一人1,300円

活動の概要

新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら、総会、役員・理事会議、評議員会等の会合を行っています。支部の活動は支部長と副支部長(4名)監事(2名)役員・理事(27名)、事務局(2名)及び評議員(37名)が中心となり、方部委員、学校担当者、会員の協力のもとで活動しています。

4つの会合

支部では次の会合を持ち、全体の活動を進めています。また、4つの各部が主体的に活動を推進し、会則の目的(会員の親睦と文教の興隆)達成に努めています。

総 会	5月に年1回 郡山支部吾峰会賞受賞校研究発表、懇親会を含む
評議員・理事会議	10月に1回 講演会、懇親会を含む
役員・理事会議	年4回(年度はじめと年度末に実施)
役員会	年4回(年度はじめ、評議員会、年度末に実施)

各部と活動

総務部 9名	会計、総会、各種会議、懇親会、高齢者顕彰、講演会、研究奨励、吾峰会本部との連絡調整、これらの計画・推進
組織部 4名	現職及び方部会員の把握と会員名簿の作成
研修部 6名	会報「ともづな(纜)」の計画、編集、発行
広報部 8名	研修視察(旅行)の計画・推進、講演会全般の計画・推進

本年度も昨年度に引き続き規模を縮小しながら総会を開催し、高齢者顕彰(80歳)も行いました。懇親会は残念ながら中止しました。研修視察旅行を6月に只見川沿線で実施しました。秋の評議員会及び講演会も実施する予定です。会報の発行は9月と次年3月の2回、発行予定です。このように、ほとんどの活動が新型コロナウイルスの感染拡大の影響を留意しながら活動しています。ただ、役員・理事会議については、注意しながら時間を短くして、会議や各種配付作業を進めてきました。以下、今年度、80歳を迎えた会員の方々に贈呈した高齢者顕彰状に同封した昨年度までの活動です。

福島大学同窓吾峰会郡山支部活動紹介

(令和5年度)

会員数 1,093名(現職575名 方部518名)

支部長 大堀 満 広 TEL024-907-0333

事務局長 大木 淳(守山小学校長) TEL024-955-3105

＜主な活動＞

支部の運営は、支部役員が中心となり、事務局校の局長・幹事と学校等担当者(88)、方部委員(79)の協力により事業を推進しています。

【現職会員の研究奨励】

「吾峰会賞」は、現職の会員が魅力を感じる会にするために、教育現場の優れた研究に贈るようにしたのが最初です。以来今日まで、毎年度「支部吾峰会賞」及び「研究助成金」を交付し、先生方の教育研究を奨励してきました。

【総務部】

総会を5月に開催しています。席上傘寿(80歳)の会員に高齢者顕彰状と記念品を謹呈しています。

議事終了後、前年度吾峰会賞受賞者による研究発表があります。その後は、懇親会で親睦を深めています。

【組織部】

未加入者の入会勧誘に努めています。

また、会員名簿を年1回発行し、全会員に配布しています。

【広報部】

会報「纒(ともづな)」(A4判・8頁)を年2回発行し、全会員に配布しています。広報部員が学校等に足を運び、取材するなどして、内容・質ともに高く、好評を得ています。

【研修部】

会員相互の研修のため研修視察旅行を実施し、親睦を深めています。さらに10月の研修会では今日的課題について興味ある講演会を開催しています。



令和5年度総会の様子



令和5年度郡山市教職員研究物展表彰式



会報発行のための取材



令和5年度講演会の様子

記念版画制作者 志村隆弘氏 プロフィール

昭和32年生、郡山市出身。赤木小、郡山五中、田村高校、玉川大各卒。平成5年福島大大学院修了。吾峰会会員。湯本三中教諭として教職をスタートし、平成29年郡山四中校長を最後に定年退職。現在、日本版画会会友として制作活動に当たり活躍中。